

# 共生

奈良県生協連

2020年4月

NO.116



第30回奈良県生協大会

食品ロスをへらすために 私たちができること  
講師 井出 留美氏

## もくじ

奈良県生協連30年のあゆみ……………	1	環境のページ……………	7
2020年度の活動に向けて……………	2	こども食堂サミット2020……………	8
第30回奈良県生協大会……………	3・4	省エネ住宅 他……………	9
NPT再検討会議……………	5	3.11を忘れない……………	10
おじゃましました番外編～Fridays for futureって?～…	6		

# おかげさまで30歳になりました

## 奈良県生活協同組合連合会 30年のあゆみ

1990年	3月8日 奈良県生協連 5生協で設立総会 アースデイ・市民平和行進・生協大会開催(以降毎年開催)	2007年	*生協法、60年ぶりの改正(県域、員外利用枠の緩和、ガバナンス強化、 共済分離など)核兵器廃絶に向けた取り組み、温暖化防止活動の取り組み
1991年	県行政との協議会(以降毎年開催)	2008年	*中国製冷凍ギョーザ事件 関西地連管内12府県生協連が、震災等大規模災害時における 応急生活物資等に関する相互支援協定締結 「県連のあり方検討会」でビジョン論議 「温暖化防止COP15ネットワーク関西」設立参加 奈良の消費者行政を考える会設立 厚生労働大臣表彰を瀧川潔県連会長と奈良女子大学生協が受賞
1992年	ICA東京大会開催	2009年	*消費者庁発足、新型インフルエンザの蔓延 奈良県生協連の将来ビジョン発表 賀川豊彦献身100年記念シンポ(9団体実行委員会)開催 COP15気候変動枠組条約締約国会議に代表派遣
1993年	奈良県協同組合連絡協議会設立総会(5団体) 奈良県農業協同組合 中央会、奈良県農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会奈良県 本部、奈良県森林組合連合会、奈良県生協連、武内哲夫氏(学識者) 厚生大臣表彰(奈良市民生協：現ならコープ)	2010年	災害時等の応急生活物資の供給協定 奈良県・奈良県生協連・ならコープが締結 奈良県食品安全条例制定に向け食の安全懇談会開催(年1~3回開催・現在継続) 奈良県生協連創立20周年記念式典・レセプション 荒井正吾奈良県知事講演 地域生協組合員理事交流会を開催(交流会年1回。現在も継続)
1994年	ひまわり号列車(障がい者ツアー) ボランティア参加(~2003年)	2011年	*東日本大震災発生 消費者庁よりベスト消費者サポーター賞を奈良県生協連が受賞 *紀伊半島大水害発生 奈良県生協大会・ピースアクション「核兵器のない平和な世界をめざして!」秋葉忠利前広島市長講演
1995年	奈良県立商科大学(現奈良県立大学)生協創立 県消費生活審議会、環境審議会委員に委嘱される 反核平和のつどい(奈良YMCA・奈良県日中友好協会・ 奈良県生協連等 共催/96年から奈良YMCA主催、 奈良県生協連後援として年開催)	2012年	奈良県医療福祉生協設立総会 福島の子ども保養プロジェクト in かんさい開催(現在も継続) 奈良県生協大会で、復興・地域活性化をテーマに河瀬直美氏講演 *固定価格買取制度(FIT法)施行
1996年	奈良の食文化研究会創立参加 奈良工業高等専門学校生協設立 樟蔭女子短期大学生協創立 自然災害に対する国民的保障制度を求める 県民会議結成に参加(事務局奈良県労済生協)	2013年	なら消費者ねっと設立 奈良県生協連が厚生労働大臣表彰を受賞
1997年	おやさと生活協同組合解散 震災等大規模災害時における応急生活物資等に関する 協定(近畿2府4県の生協連間の支援協定)締結	2014年	「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する 厚生労働大臣感謝状」(奈良県生協連・ならコープ) 奈良県生協大会で、「エネルギー・地域共生社会」をテーマに開催
1998年	奈良県・ならコープ・奈良県生協連による「災害時における緊急物資供給提供」を締結 第17回つながり祭(奈良教育大学で開催される障がい者の祭典)に参加 厚生大臣表彰(稲川和夫氏)	2015年	NPT再検討会議に奈良教育大学学生 村上泰三さんを派遣 NPO法人「なら消費者ねっと」設立 奈良県生協大会・ピースアクション in なら2015 戦後・被爆70年企画
1999年	第10回奈良県生協大会(生協法制定50周年記念) 共生コンサート「こんべいとう」	2016年	奈良県で初めて「子ども食堂交流会」を開催 学生委員らで「Peace Now! 奈良」開催(以降現在も継続) 生協組合員理事交流会で「南医療生協」見学交流 奈良県生協大会で貧困問題「子どもたちの未来と共生社会 を考える」をテーマに湯浅誠氏(法政大学教授)講演
2000年	「食品の安全を確保するための食品衛生法改正と充実強化を求める請願」署名 (265,000筆) 「奈良県の食品安全行政の充実を求める請願」署名に取り組む	2017年	奈良子ども食堂ネットワーク設立(事務局として運営参加) フードバンク奈良設立
2001年	食の安全懇談会開催立上げ *BSE日本で発生	2018年	奈良県生協大会「子どもたちの未来と共生社会を考えるpart2」開催 *日本協同組合連携機構創立(JCA) 協同組合デーのつどいで青竹豊氏講演(JCA常務理事) 厚生労働大臣表彰を森 宏之会長が受賞
2002年	「国内でのBSE発生の早期原因究明を求める要請書」を国・県に提出 「イラクへの軍事攻撃の即時停止を求める声明」と ノーモアウオーのつどい(11団体) コープ自然派奈良創立	2019年	奈良県生協大会でSDGsをテーマに黒田かをり氏講演 奈良防災プラットフォーム連絡会災害時対応マニュアル 策定に参加
2003年	大学生協合同企画(新年交流会) *食品安全基本法施行 厚生大臣表彰を奈良県生協連推薦で奈良県労働者 共済生協と伊藤次栄元ならコープ副理事長が受賞	2020年	奈良県生協大会で食品ロスをテーマに井出 留美氏講演 *新型コロナウイルス感染拡大
2004年	*2~4月鳥インフルエンザ京都で発生。消費者被害急増 *消費者基本法施行 福井県集中豪雨被災地にボランティア5人派遣 奈良県食品安全・安心懇話会設立		
2005年	消費者問題研究会こむらいふ奈良発足 第17回近畿地区生協行政合同会議を奈良県で開催 NPT再検討会議に奈良県立大学生岡本拓郎さんを派遣 被爆60年企画生協大会「筑紫哲也講演会」 適格消費者団体支援機構関西(KC's)発足		
2006年	*生協法改正の動き、国会議員要請訪問 ウィルコープなら(現：生活クラブ生協)創立 生協連ホームページ開設		

# 奈良県生協連 2020年度の活動に向けて

「持続可能な開発目標 (SDGs)」では、「あらゆる人々の活躍」「地域活性化」「循環型社会」などの課題を掲げ、協同組合の役割に大きな期待が寄せられています。

今年は、創立30周年にあたり「地域共生コミュニティづくり」をさらにすすめるために行政や、会員生協、諸団体の皆様と協力して、安心して暮らせる地域社会づくりにお役立ちできるように取り組みます。

## 創立30周年の主な記念事業

- 記念式典 11月21日(土) 奈良ロイヤルホテル
- 30周年誌(県連のあゆみ)の発行
- 会員紹介パンフ(奈良の生協)の発行
- 県内被爆者体験集の発行

## (1) 協同組合の理念を広げ 協同の心が息づく取り組み

### ◆協同組合間協同

- 日本協同組合連携機構(JCA)を通して全国の協同組合との交流と関係強化を図ります。
- 奈良県協同組合連絡協議会のもと第28回奈良県協同組合デーを開催します。

### ◆行政とのコミュニケーション

- 生協行政協議会を開催し、奈良県行政と意見交換を行います。
- 「食の安全懇談会」を開催しコミュニケーションを図ります。
- 近畿地区生協府県連の行政合同会議や近畿農政局懇談会等との意見交換会に参加します。

### ◆協同組合理念の学びの場づくり

- 第31回生協大会を開催します。(30周年記念式典)
- 会員役職員研修、生協組合員理事交流会を開催します。

## (3) 社会的諸課題を学び考える場づくり

- 食の安全懇談会を開催し、消費者をとりまく食品安全の現状を学びます。また、食の安全に関するリスクコミュニケーションや学習会に積極的に参加します。
- 核兵器廃絶をテーマに、ピースアクションinなら2020を開催します。
- 奈良県の被爆体験を掘り起こし、奈良県在住の被爆者のつながりをサポートします。県内被爆者の証言集を作成し、継承します。
- 大学生による平和活動「Peace Now! 奈良」に協力します。
- 憲法についての学習をすすめます。

## 重点課題

- (1) 協同組合の理念を広げ協同の心が息づく取り組みをすすめます
- (2) 諸団体と連携・協同し、安心して暮らせる地域共生社会づくりに参加します
- (3) 平和とよりよい暮らしの実現のための社会的諸課題を学び考える場をつくります
- (4) 会員生協の交流と連帯をすすめます
- (5) 奈良県生協連30周年記念事業(活動をお知らせ)

## (2) 諸団体と連携・協同し、安心して暮らせる地域共生社会づくりへの参加

### ◆消費者市民社会の形成に寄与する取り組み

- なら消費者ねっとと連携し、県内消費者の権利保護活動の継続的・積極的な展開を支援します。
- 消費者支援機構関西(KC's)の活動に参画します。

### ◆住み慣れた地域で誰もが安心してくらすための協同

- 「奈良子ども食堂ネットワーク」に事務局としてサポートし、「フードバンク奈良」「子ども食堂」などに協力します。
- 会員生協と協力して健康づくり運動に取り組みます。

### ◆地域防災と被災地支援

- 災害時の緊急物資備蓄や災害復興支援の協力等について、奈良県防災統括室と懇談の場を持ちます。
- 「関西災害時物資供給協議会」に参画します。
- 奈良防災プラットフォーム連絡会に参画し、災害対応マニュアルを基に県内での災害時連携を強めます。

### ◆自然・暮らし・エネルギーの地域共生

- 再生可能エネルギーをすすめる県内諸団体と連携し、学習や情報交流をすすめます。
- 吉野共生プロジェクトに引き続き参加し、奈良県南部東部の活性化を応援します。
- 健康・省エネ住宅推進の取り組みに協力します。

## (4) 会員生協の交流と連帯

- 会員生協役職員研修会、生協組合員理事交流会の開催。
- 大学生協学生委員と平和活動等での連携・交流
- 奈良県医療福祉生協の健康づくり運動を応援します。
- 会員生協と力を合わせ奈良県生協連創立30周年記念事業に取り組みます。また、奈良県生協連の活動を関係者へお知らせします。

第30回  
奈良県生協大会

# ～食品ロスをへらすために 私たちにできること!～

2月8日、奈良ロイヤルホテルにおいて、食品ロスをテーマに第30回生協大会を開催しました。生協関係者の他に自治体、大学、地域諸団体から多数の参加があり、あわせて180人が食品ロスの実態を学び、県内の実践事例を共有しました。

2019年5月24日に食品ロスを減らすために「食品ロス削減推進法」が成立し、10月1日に施行されました。地域で暮らす誰もが大切にされ、おたがいをささえあう共生社会。それは今、深刻な食糧問題をかかえる地球の未来をみんなで解決しようというSDGs(国連が提唱する持続可能な開発目標)の取り組みにもつながっています。SDGsの目標12「持続可能な生産消費形態を確保する」で「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる」としています。

森宏之県連会長から「誰一人取り残さない安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域共生社会の実現に向けて取り組みます」と挨拶しました。開催にあたっては奈良県、奈良市の後援をいただきました。

榊田斉志奈良県くらし創造部長から来賓の挨拶をいただき、食品ロス問題の取り組みをはじめ安心して暮らせる地域社会の実現に向けて生協連と行政との連携や奈良県生協連への期待のこたばを頂戴しました。



森宏之会長



榊田斉志部長



会場風景

講演



食品ロス問題ジャーナリスト／博士(栄養学) 井出留美氏

井出留美さんからは、食品ロス問題にかかわってきた経緯や、食品ロス基礎知識や「食品ロス削減10か条」について、参加者にその場でリアルタイムアンケート(インターネットアンケート)を取り、回答を紹介しながら意識の共有を図り、クイズを交えながら参加型でわかりやすく、SDGsも絡めお話していただきました。

井出留美さんの講演では、食品ロス発生の世界や日本の現状・ごみ処理費用のこと、家庭からの廃棄も約半分を占める事実、賞味期限と消費期限の違い、企業や行政、生協の食品ロスを減らすための取り組みなどを紹介していただきました。一方で社会では、貧困問題を抱えていることから、おてらおやつクラブやフードドライブ活動の紹介もあり、「冷蔵庫を便秘にしない、規格外などを活用する」などの「食品ロス削減10か条」や、「空腹状態で買い物に行かない、すぐ食べるものは手前から」などの「食品ロス削減家庭10ポイント」としての具体的な行動を示されました。「Food is life. Cherish life. 食べ物は命。命を無駄にしない世の中に」で締められました。



井出 留美氏

## リレー報告

県内で食品ロスに関わる取り組みをされている3団体から  
実践事例と想いを報告していただきました

### 報告① おてらおやつクラブ おてらおやつクラブの取り組み

代表理事／安養寺住職 松島 靖朗氏

おてらおやつクラブができたきっかけは、今から6年前に大阪で母子が餓死状態で発見されるという報道があり、お寺として何かできることがないかと始めました。おてらおやつクラブの活動は、一言でいうと「お寺のおさがりをおすそわけする福祉活動」です。解決したい問題は、身近にある子どもたちの貧困です。日本の子どもの7人に1人が貧困状態にあり、18歳未満では280万人が貧困状態です。しかも問題なのはただ単に物やお金がないということではなく、その家庭が人とのつながりを持つことができない、子どもを安心して育てることができない、悩みを相談することができない現状にあることです。13,000人の子どもたちは、日本中の1,413のお寺から届くおやつを楽しみにしています。これからもこの活動を通じて貧困問題を解決していきたいのでご支援をお願いします。



松島 靖朗氏

### 報告② フードバンク奈良 もったいないをありがとうに

副代表／事務局長 平川 理恵氏

フードバンク奈良は、2017年12月に任意団体として設立し、2020年1月に奈良県から特定非営利活動法人の認証を受けました。ならコープほか行政や様々な団体からのフードドライブ活動によりささえられて食品の提供を受け、①必要な人や団体に供給する活動、②フードバンク・食品ロスなどに関する普及啓発活動、③こども食堂をはじめとする地域コミュニティづくりを支援する活動などに取り組んでいます。こども食堂、生活困難者支援、障がい者事業所・グループホーム等の提供先によって求められる商品が違いますので、食品企業からの提供が増え、ボランティアにかかわる方が増えることでさらにたすけあいの輪が広がることを期待します。



平川 理恵氏

### 報告③ ならコープ ならコープの食品ロス削減の取り組み

組織・経営管理本部統括執行役員 奥西 武史氏

コープSDGs行動宣言に基づき、「誰もがいつまでも笑顔でくらせる社会」をめざしています。組合員、職員の学習・啓発活動として組合員のつどいで127会場3,077人が参加して、食品ロスについて学習し、一人ひとりが家庭でできることを学び合いました。また、店舗での恵方巻ロス削減、フードドライブを実施しました。無店舗(宅配事業)では、生産者やメーカーと連携した規格外商品(味に問題のない形状やサイズ不揃い商品)の販売、フードバンク奈良やこども食堂への商品提供など食品ロスの削減の取り組みをしています。



奥西 武史氏

## 参加者の声一部

知らなかったことを多く知ることができてよかった

食品ロスへの関心が急速に高まっているのを感じました

食品ロス削減推進法が成立したことにより、  
行政のほか、企業での取り組みがより一層進んで  
いくと思っています

行政として企業様の協力をいただきながら、  
何ができるか、何をすべきかを考えていきたい

『SDGsの活動が途上国に負担をかけていないか』  
『ゴミの焼却に税金が使われており自分にもかかり  
があることを認識しているか』など自分にとっても身近  
な問題であると再認識することができました  
『食品ロス削減＝働き方改革』は新しい学びでした。  
本日学んだことを身近な人に伝え、実践することから  
始めようと思います

# NPT再検討会議の派遣中止と 今後の平和の活動

## 1. NPT再検討会議代表派遣とは…

5年に1度開催されるNPT再検討会議は、ニューヨークの国連本部で4月27日から5月22日までの日程で、約190の締約国が参加して開かれる予定でした。3月20日時点で新型コロナウイルスの感染拡大により、延期が検討されています。

核兵器の人的影響に関する国際会議など様々な努力がすすめられ、核兵器の非人道性の認識が広がっています。このような中で、今回のNPT再検討会議は、「核兵器のない世界」への道筋を確かなものにするために、極めて大切な会議です。

また、被爆75年、NPT発効50年の年に開催される今回のNPT再検討会議では、2000年、2010年のNPT再検討会議で約束した『核兵器の完全な廃棄を達成する』ための道筋を確認する機会でもありました。

**核兵器禁止条約の批准書は、署名81カ国(3月20日時点)、批准36カ国となりました。  
(批准50カ国で国連に寄託された後、90日で発効します)。**



## 2. NPT再検討会議代表団の派遣中止について

全国の生協から104名の代表団が日本原水爆被害者団体協議会(以下:日本被団協)の54名の代表の方々とともに、ニューヨークで被爆の実相を伝え、核兵器廃絶の願いを世界の人々に呼びかける予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、日本被団協のNPT再検討会議代表派遣団の中止決定を受け、日本生協連は生協代表団の派遣の中止を決定しました。

平均年齢が83歳を超えた被爆者は、「原爆は75年たった今も被爆者のからだ、くらし、こころに被害を及ぼしている」とその非人道性、非人間性を訴えてきました。今回のNPT再検討会議代表派遣の中止は非常に残念なものです。

また、奈良県からは、カーン陽子さん(ならコープ組合員)と宮本志音さん(奈良県立大生協学生委員)の代表派遣者が、ピースアクションinなら2019(11月30日)で決意表明され、みなさんから支援をいただけてきました。

## 3. 今後の平和の活動について

代表派遣者による活動はなくなりましたが、被爆者、そして全人類の共通の願いである「核兵器のない平和な世界」が一日も早く実現できるように、ピースアクションをすすめる会とともに奈良県生協連は今後も活動を進めていきます。

今年もPeace Now! 奈良(大学生の平和の取り組み)の支援、ピースアクションinなら2020(時期未定)、被爆者証言集の作成、ピースかふえなどの平和の取り組みを予定しています。



Peace Now! 奈良2019の様子

ピースかふえ II  
被爆の記憶を次世代につなぐ  
講師: 栗原淑江さん

参加費無料  
要申込(生協連・自費あり) NPO法人ノーゼア・ヒロシマ記憶遺産を継承する会 事務局の栗原淑江さんをお迎えし、被爆者の生き方から学び、被爆者の声の保存・継承の意義を一緒に考えましょう。

2019年  
2月23日(土) 13:30~15:30  
コープふれあいセンター六条  
1階集會室

★栗原さんの講演の後、入江万里さんによる被爆者の被爆体験の語り起こし活動の報告や質疑

【集會室まで】  
1966年一橋大学学生時代に広島原爆被爆者の実態を調査し、1970年より現大生協を支援する会として調査を継続。1980年から1991年まで広島県立総合資料館、1992年開館。被爆者に「自分史」を聞き取り、93年から2012年度まで、『自分史つづしんぱくしん』を刊行。現在、広島県立総合資料館と広島県立総合資料館の共同事業として調査を継続する調査委員会。

【申し込み・問い合わせ】奈良県生活協同組合連合会  
☎ 0742-34-3535 (9時~18時)  
Email: ksrren@nara0000.or.jp

主催 奈良県生活協同組合連合会・ピースアクションをすすめる会

昨年のピースかふえチラシ

# おじゃましました //

～番外編～

# Fridays for future って?

1月25日大阪のNPO法人CASAが開催する「COP25報告会」で、「Fridays for future」の活動をしている大阪の学生さんが「世界の取り組みと日本の取り組み」を報告されていました。近畿圏の若者たちもさまざまな活動をしていることを知り、奈良の女子高校生の端山優希さんに出会いました。

2015年の第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で採択された『パリ協定』は、世界の気温上昇を1.5度未満に収めることを目指しています。しかし現在各国が国連に提出している目標では全く達成できないと科学者たちは警告しています。気候変動対策強化を訴える若者が中心になって「フライデー・フォー・フューチャー」の運動が立ち上がり、世界では毎週金曜、学校で授業が行われる時間帯に路上でデモが実施されています。きっかけを作ったのは、2018年8月20日にスウェーデン議会の前で初めてデモを行った環境活動家のグレタ・トゥンベリさんでした。こうした行動が広まり、日本でも各地で若者たちを中心に展開されています。

端山さんに奈良県生協連が共催した講演会を案内し、行動のPRをお願いしました。講演会参加者はみなさん、あたたかく若者の行動に感激し賛同を寄せました。

その後、2月14日の金曜日の行動に参加し取材させていただきました。

## Q Fridays for future Naraの行動はいつから?

A 12月20日一人で、JR奈良駅前広場で立つことから始めました。今は西大寺駅前に移動しました。

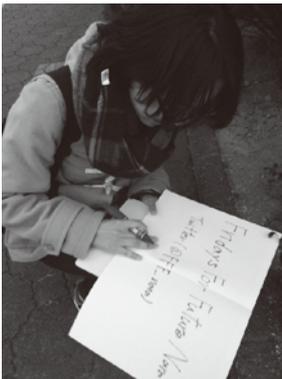
## Q どうしてこの行動をしようと思ったのですか?

A 「高校生平和大使」に、奈良県代表として2019年度に選ばれ、8月に国連欧州本部(ジュネーブ)を訪問し、核兵器の廃絶と世界平和を訴えるなど約1年間平和貢献活動をしてきました。幼いころから本を読むのが大好きで、気候変動問題は大変心配しています。はじめは一人でしたが、今は友達三人と行動しています。

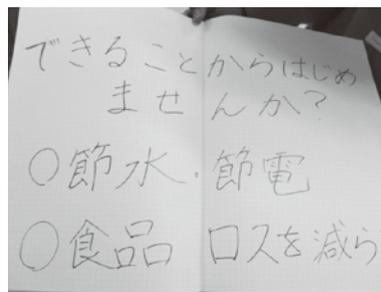
## Q これからどう進めていきたいですか? 大人たちも応援します。

A 講演会でPRの場をいただき、大人の皆さんが温かく迎えてくださったことに驚きました。これまでも气象台の人を紹介してもらって勉強もしました。毎週金曜日の放課後にフードコートでミーティングもしています。まずは自分の学校での理解者を増やし、SNSを活用して、他のグループと一緒に行動していきたいと思います。友人と放課後に無理のないように行動をしています。

大人たちに「無責任だ」と怒る気持ちはなく、とにかく一人でも多くの人に行動を変えて欲しいとの思いで立っているとのことでした。さりげなく行動する端山さんに大人たちも実行しないとイケないという思いを強くしました。



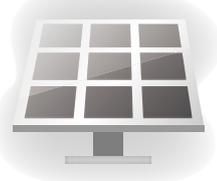
カバンから取り出したノートにスローガンを書き掲げてPR  
たまに人が立ち止まります



段ボールに書いていたが、かさ張るので  
ノートに書かれていました



環境のページ



# 「災害時の大停電で太陽光発電はどう機能したか？」

主催：NPO法人サークルおてんとさん  
共催：奈良県生協連

2月2日、講演会「災害時の大停電で太陽光発電はどう機能したか？」（講師：都筑建氏 認定NPO法人太陽光発電所ネットワーク代表理事）が開催され、行政や市民など65名の方が参加されました。

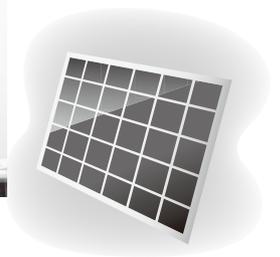
昨年9月に襲った巨大な台風により、千葉県南部では大停電が長期に渡り発生し、市民生活に甚大な影響を与えました。太陽光発電設備を設置している市民の中には、自立運転機能を活用したり、地域の方に電気を分け合ったりする例もあり、今後予測される自然災害に備え、どのような対策や心構えをすればよいのかを知る機会となりました。



会場の様子



講師の都筑建氏



都筑さんは、災害時における住宅用太陽光発電設備の活用には、日ごろから自立運転機能への切り替えの練習をしておく必要があること、また、災害時には感電事故のリスクもあることを注意喚起されました。東日本大震災での津波や熊本地震の被害を調査した結果報告があり、住宅用太陽光発電設備は災害に強く、屋根を守る作用があるとのことでした。「オフグリッド（系統なし）こそ太陽光発電の真価が問われ、平常時に自立運転を試し、システム全体の能力を使える状態を目指すこと。金銭的な損得ではなくシステム活用の便益をベースに考えることが重要である。太陽光発電はオーナーシップ（私のもの）だが公器としても活用できる。これからは、スマートグリッド・マイクログリッドの構築に向かっていく」と述べられました。

後半は2018年度奈良市補助事業でサークルおてんとさんが支援して設置された「あすならホーム西の京市民共同発電所」の大國航施設長から、蓄電池付き太陽光発電の使用状況報告があり、また、卒FITについての情報提供を(株)CWS大谷要氏が、Fridays for future Naraの端山優希さんから若者が環境活動に取り組んでいることが報告され、その後、活発に質問応答が行われました。



あすならホーム西の京 大國航さん



ならコープ子会社(株)CWS 大谷要さん



Fridays for future Nara 端山優希さん

参加者からは、

災害時の対応として参考となった。

地域のかになるには日頃の取り組みの蓄積の上に可能だということ、南房総市の取り組みに感動した。

太陽光発電についてプラスとマイナスを平等に話されて信頼出来ました。

などの感想が寄せられました。

## 全国こども食堂ネットワーク運営者交流会(2月1日) こども食堂サミット2020 (2月2日)が開催されました



### 2月1日 全国こども食堂ネットワーク運営者交流会

「こども食堂の支援を通じて誰も取りこぼさない社会をつくる」「こども食堂が全国どこにでもあり、みんなが安心して行ける場所となるよう環境を整える」「子ども食堂を通じて、多くの人たちが未来社会をつくる社会活動に参加できるようにする」ことを目的に子ども食堂への支援を行っているNPO法人全国こども支援センター・むすびえの主催で開催されました。

全国から、子ども食堂ネットワーク団体、自治体職員・社会福祉協議会など37都道府県から92名が参加しました。



山口県知事の「こども食堂応援宣言」に基づく活動の報告



主催者挨拶 湯浅誠さん

主催者として湯浅誠氏の挨拶の後、むすびえスタッフによる事前アンケートについてのフィードバックが行われました。また、福岡、大阪、山口、愛媛、宮城、長崎のネットワーク団体から活動報告がありました。その後、内閣府子どもの貧困対策担当「こどもの貧困対策の現在」、(株)ファミリーマートの子ども食堂などの取り組みが報告されました。最後にグループで交流が行われ、参加者からは「元気をもらった」「新たに頑張っていきます」などの感想が出されました。

### 2月2日 こども食堂サミット2020 「こども食堂であったこと」

全国こども食堂ネットワークの主催で、豊島区役所内としまセンタースクエアで開催され、全国の子ども食堂から225名参加して開催されました。

こども食堂応援ライブ&ダンス(「子ども食堂支援ソング」お披露目ライブ)で開幕。

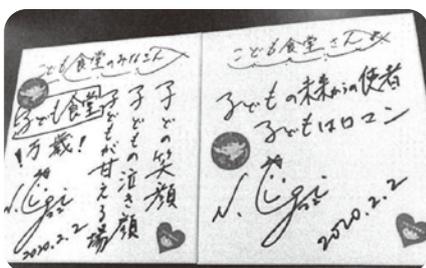
基調講演は、「地域で育つ子どもたち～みんなが集う子ども



尾木直樹氏の基調講演

食堂～」のテーマで尾木直樹(尾木ママ)さんが話され、ユーモアあふれる内容で、「家族とどうつながり、支援するかが大事」とアドバイスされました。

尾木さんからは、子ども食堂は、「子どもたちの心と生活の居場所」「子育てに悩むお母さんや引きこもりの人の居場所」「人を信じられるようになった安心の場」「子どもを中心に子どもたちも大人たちも心と身体の居場所」「こどもも大人も地域でつながる場所」と全国に広がる子ども食堂への期待と応援の言葉を頂きました。その後、全国の子ども食堂で実際にあったエピソードがリレートーク形式で各地の子ども食堂6団体から発表されました。



尾木さんからの応援メッセージ色紙

## 医療福祉・建築連携事業を推進するための勉強会に参加しました



2月24日に橿原商工会議所で（一社）健康・省エネ住宅を推進する国民会議主催の伊香賀俊治慶應義塾大学理工学部教授による「医療福祉・建築連携事業と住まいと健康の重要性」について講演がありました。

国民の健康寿命を延ばすために医療関係者の他に建築士等の専門家による住まい方を指導し、「医療・福祉・建築連携事業」を推進しています。断熱改修で室温変化がおさえられ血管への負担が軽減され、諸疾病の削減にもなることを学びました。

## 三重県生協連役員研修で奈良に来られました

1月12日に三重県生協連の役員16名がならコープ本部を訪問され、山本専務による奈良県生協連の活動報告（子ども食堂ネットワークづくりの経緯、フードバンクの支援活動、会員生協理事交流会、協同組合間協同等）、奥西執行役員（組織・経営管理本部統括）によるならコープの活動報告（吉野共生PJ、再生可能エネルギー普及の取り組み、行政との連携協定、45周年DVD視聴）後、協同福祉会のあすならハイツ恋の雀見学やコープなんごう、ならコープwithローソン真美ヶ丘店を視察されました。翌日13日には竹内専務から（一社）かわかみらいふの取り組み報告と視察後、ハートフルコープよしの/吉野事業所を視察され、奈良県生協連と交流を深めました。



三重県生協連のみなさん  
かわかみらいふにて



研修の様子（ならコープ本部会議室にて）

## 令和元年度関西災害時物資供給協議会 総会が開催されました



令和元年度関西災害時物資供給協議会の総会が、2月14日に人と防災未来センターで開催されました。「緊急物資円滑供給システムワークショップ及び関西広域応援訓練」（関西広域連合広域防災局）、「㈱日清食品ホールディングスの災害支援の取り組み」（日清食品ホールディングス株式会社 総務部リスクマネジメント室 高橋正和係長）、「2019年度大規模災害対応報告」（㈱ローソン コンプライアンス・リスク統括室 吉田浩一室長）について報告がありました。また、基調講演は、河田恵昭氏（人と防災未来センター長）による「防災省（庁）創立の提案」がありました。

# 3.11を忘れない

被災地のいま

みやぎ生協・コープふくしまから  
宮城・福島のいまをお伝えします。

—地域とスポーツ—

## スポーツボランティアの“人と経験”をつないでいく 宮城県仙台市／市民スポーツボランティアSV2004

2020年3月5日

「市民スポーツボランティアSV2004」(以下SV2004)は、16年前、仙台・宮城で開催されるスポーツをサポートしようと地域の人々が集まって結成した団体です。楽天イーグルスの試合や仙台国際ハーフマラソン大会など、様々なスポーツイベントにボランティアとして関わっています。

代表理事の泉田和雄さんは、発足以来、仲間とともにスポーツボランティアの輪を広げ、学び合う活動を続けてきました。その活動が一旦ストップしたのが東日本大震災でした。

「すべてのスポーツが休止し、SV2004の仲間も多くは被災者として自分の生活再建に頑張るしかありませんでした」。活動に戻るきっかけとなったのは「4月29日復興デー」でした。東北新幹線と仙台市地下鉄再開に合わせ、ベガルタ仙台と楽天イーグルスのホーム開幕戦が行なわれたのです。

さらに5月、SV2004は緊急の東北スポーツボランティアサミットを開催しました。「スポーツボランティアは震災では無力ですが、スポーツには人を笑顔にし、元気にする力があります」。そこで「スポーツで笑顔を未来に」という宣言を出し、特に子どもたちのために何ができるかを話し合いました。

7月、楽天イーグルスの球場でプロ野球のオールスターゲームが開催され、被災地から3,000人を超える子どもたちが招待されました。SV2004などのメンバーは全国から駆け付けた100人以上のボランティアとともに招待された子どもたちの対応をしました。

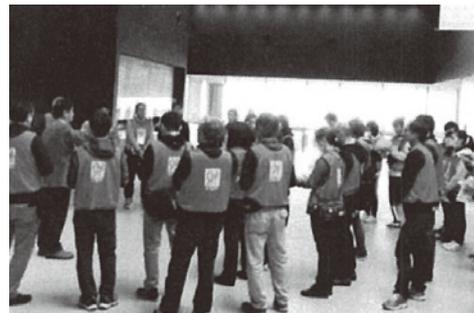
去年は岩手県釜石市でラグビーワールドカップが実施され、泉田さんも地元の人たちの活動を支援するため何度か足を運びました。「釜石の方々は“震災の後、ワールドカップという目標が先にある、ラグビーを見に世界からお客さんが来ると思って、前を向くことができた”と言っていました。大会成功のために動いた釜石の方々の“人と経験”はレガシー(遺産)となって今後につながっていくでしょう。それはどこの地域も同じです」。

今年はオリンピック・パラリンピックイヤーです。宮城でも春に聖火リレー、夏には宮城スタジアムでサッカー予選が行なわれます。SV2004の会員もボランティアとして参加する予定です。

「これを機にスポーツボランティアを経験する方が増えるでしょう。そうした方々が、オリンピック・パラリンピックが終わっても地域のスポーツのために活動をしていけるような流れをつくれたら嬉しいですね」



▲「スポーツボランティアは楽しいからこそ続けていける」と泉田和雄さん。「長時間のエコ活動や観客対応など大変なことも多いのですが、その場にいられる幸せというのがある」と言います。



▲SV2004の会員は現在137名。スポーツボランティアの依頼も年々増えています。写真は昨年11月仙台市体育館で開催されたバレーボールリーグ男子公式戦でのミーティング風景。(提供：SV2004)

## 2020年 1月

- 6日(月) 新年挨拶訪問  
12日(日)～13日(月) 三重県生活協同組合連合会「役職員研修」受入れ  
14日(火)～15日(水) 日本生協連全国方針検討集会  
16日(木) 奈良県環境審議会水質部会  
23日(木) 2019年度第5回理事会  
24日(金) ピースアクションをすすめる会  
27日(月) 県指導検査立会(奈良県立大大学生協)

- 28日(火) 第7回なら消費者ねっと理事会  
29日(水) 奈良県消費生活審議会  
30日(木) 日本生協連関西地連2019年度第4回運営委員会  
30日(木) 日本生協連2019年度第4回県連活動推進会議  
30日(木) 県指導検査立会(奈良女子大生協)

## 2月

- 1日(土) 第1回30周年記念事業実行委員会  
1日(土) 全国こども食堂ネットワーク運営者交流会  
2日(日) こども食堂全国サミット  
2日(日) 「太陽光発電はどう機能したか」(共催)

- 8日(土) 第30回生協大会(井出留美氏)  
10日(月) 県指導検査立会(奈良県高専生協)  
14日(金) 令和元年度関西災害時物資供給協議会総会  
24日(月) なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議講演

## 3月

- 3日(火) ピースアクションをすすめる会  
7日(土) 第2回30周年記念事業実行委員会  
13日(金) 第3回近畿地区府県連協議会  
18日(水) 奈良県農政推進会議  
19日(木) 2019年度第6回理事会  
24日(火) 第9回なら消費者ねっと理事会

### 公告

## 奈良県生活協同組合連合会 第31期通常総会開催について

当会 定款第49条にもとづき、奈良県生活協同組合連合会第31期通常総会を下記の通り、開催致します。

奈良県生活協同組合連合会 会長 森 宏之

1. 日時：2020年6月27日(土) 10:00～12:30
2. 場所：奈良ロイヤルホテル 〒630-8001 奈良市法華寺町254-1
3. 議案：第1号議案 2019年度事業報告・決算関係書類承認の件  
第2号議案 2020年度事業計画及び予算案決定の件 第3号議案 役員選任規約改定の件  
第4号議案 役員選任の件 第5号議案 役員報酬決定の件
4. 選出について：会員規約第3条及び第4条にもとづき、代議員は、会員ごとに定める選出方法により選出し、会員生協の定数は各3人とします。

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で各種イベントや会議などが中止・延期になり、時間が空くはずが一向に変わらない!自分自身の仕事の段取りと習慣のせいだとあらためて気づき、見直す機会になりました。ネットで感染のリスクも怖いけどデマに惑わされる人間の行動の方が怖いとあり、正しい情報を入手し冷静に行動することを心がけたいものです。

(弘)

「金を残すは3流、名を残すは2流、人を残すは1流」故野村克也元監督の言葉ですが、自分自身、金も名も残せませんでした、人は??

(和)

新型コロナウイルスの感染が広がっています。様々なイベントや会議が中止、学校も休校。♪春なのに、春なのに。ため息またひとつ

(順)

東大寺二月堂のお水取りが終わると寒さも終わると祖母がよく言っていました。なのに、今年は暖かい日が続いていたのに急に寒くなり金剛、葛城山に雪が積もりました。今の騒がしい日常が早く穏やかになることを願ってやみません。桜の花の散るころには落ちていてほしいなあ!

(佳)